

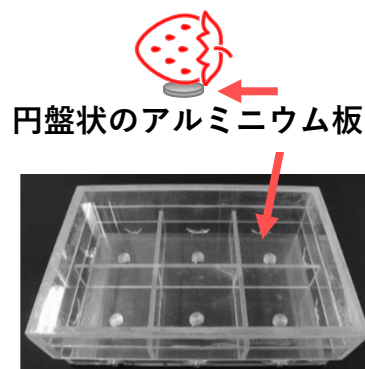
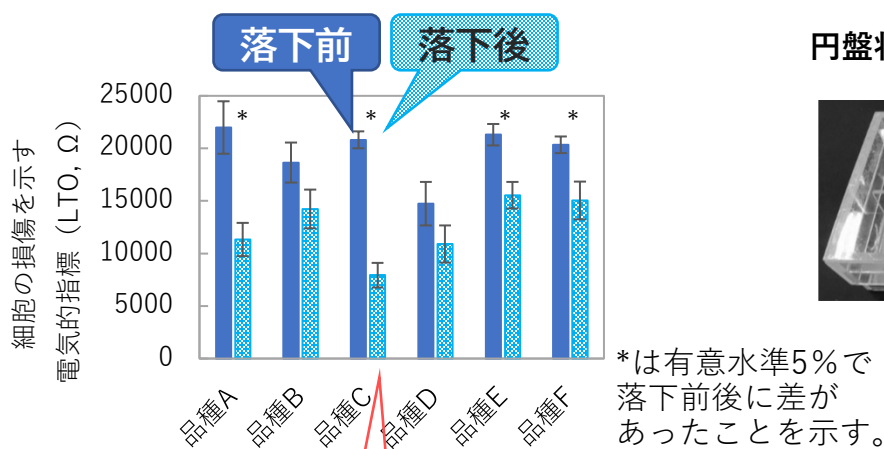
長距離輸送に適したイチゴ品種の選定手法

成果の特徴

- イチゴは、果皮が薄く果肉が柔らかい果物で、輸送振動や衝撃を受けると傷つき外観などを含む品質が急速に劣化します。
- 現在品種登録されているイチゴ品種は300種以上あります。イチゴを輸出したり、長距離輸送したりするのに適した品種の選定に役立つ技術について検討しました。

成果の内容

イチゴの流通上問題になっている「オセ（押し傷）」を与えるために、円盤状のアルミニウム板を表面に張り付けて落下させました。「オセ」の箇所を電氣的に測定（インピーダンス測定）することで、品種間の損傷度合いを数値化することができます。



ある品種では落下前には高かった数値が落下後に大きく減少し、「オセ」により細胞が壊れやすいことが明らかになりました。

成果の活用

輸出や長距離輸送を見据えた損傷しやすい果物の品種選定に役立ちます。

参考

Matsumoto S, Sugino N, Watanabe T, Kitazawa H (2022) European Food Research and Technology 248, 807-813.